学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
服飾造形論Ⅱ(ソーイング、ドレーピング、PM)									6単位			
担当教員	本田　茂貴				科目区分	講義			演習		実習	100 %
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:13年　業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)婦人服アパレルメーカにてデザイナー、パタンナー及び生産管理責任者として海外工場の立ち上げなど、企画生産業務に幅広く従事。							
授業との関連性	アパレル企業での実務経験で培ってきた衣服制作における実用性の高い知識と技術を指導するとともに学生独自の世界観を引き出し、クリエイティブな作品制作を指導。											
授業目的	アパレル企画の演習と実習 デザイン・パターン・縫製の研究											
	コレクションブランドの確立の為に、各アイテムに必要なシルエットやディテールのパターンメーキングの知識と技術を習得し素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作～縫製仕様まで幅広く理解し応用できるようになる。											
	・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。											
到達目標	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開から縫製までできるようになる。											
	・デザイン、パターン、縫製において Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Act(改善)ができるようになる。											
	マイブランド確立し、卒業企画発表にてファッションショー、ポートフォリオ、企画書にて発表する。											
	オリジナルショップにて販売する。											

授業概要

マイブランド企画の研究 デザイン～制作まで様々な観点で実験と研究を繰り返し担当教員とディスカッションしてブランド商品として確立させ実際に販売する。

時期	コマ数	授業内容(授業展開)	
4月	24	PD4の共通課題 ★企画作品製作(3作品) A/W素材指定:皮革、厚地(メルトン等)、　ファー、リバーシブルのいずれかを必ず使用すること。 アイテム指定:トレンチコート ・デザイン画のバランス通りにシルエット表現できる ・素材の特性に合わせたドレーピングが出来る ・仕様・工程が考えられたパターンメイキングが出来る ・素材に合わせた裁断・縫製方法がとれる ★ブランドデザインのパターンメーキング (最低3コーディネート) 各アイテムのパターン作成、 各自のデザインに応じてテクニック＆テキスタイル実験と様々な縫製テクニックの研究 使用素材からディティールの研究 トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認 完成パターン→工業用パターンへ 縫製仕様書作成、工程分析作成 裁断→縫製 **＊各自縫製スケジュール表に基づき進めていく**	PD4の各自課題 ★各自、就職活動を視野に入れて目的、目標を立てて課題に取り組む。 ・スケジュールを立てて計画的に取り組めるようになる。(各自課題は調整)
5月	32		
6月	32		
7月	28		
9月	20		
留意事項		授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。	
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意	
評価方法 対象・比重		・評価テスト30%・提出物70% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。	

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	4	年	学期	前期		後期	○

授業科目名	単位
服飾造形論Ⅱ(ソーイング、ドレーピング、PM)	6単位

担当教員	本田　茂貴	科目区分	講義		演習		実習	100 %

実務経験者の授業科目	○	経験 内容	経験年数:13年　業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)婦人服アパレルメーカにてデザイナー、パタンナー及び生産管理責任者として海外工場の立ち上げなど、企画生産業務に幅広く従事。

授業との関連性	アパレル企業での実務経験で培ってきた衣服制作における実用性の高い知識と技術を指導するとともに学生独自の世界観を引き出し、クリエイティブな作品制作を指導。

授業目的	アパレル企画の演習と実習 デザイン・パターン・縫製の研究
	コレクションブランドの確立の為に、各アイテムに必要なシルエットやディテールのパターンメーキングの知識と技術を習得し素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作～縫製仕様まで幅広く理解し応用できるようになる。
	・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。
到達目標	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開から縫製までできるようになる。
	・デザイン、パターン、縫製において Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Act(改善)ができるようになる。
	・マイブランド確立し、卒業企画発表にてファッションショー、ポートフォリオ、企画書にて発表する。
	・オリジナルショップにて販売する。

授業概要

マイブランド企画の研究 デザイン～制作まで様々な観点で実験と研究を繰り返し担当教員とディスカッションしてブランド商品として確立させ実際に販売する。

時期	コマ数	授業内容(授業展開)
10月	32	マイブランド企画の研究 デザイン～制作まで様々な観点 で実験と研究を繰り返し担当教員とディスカッションしてブ ランド製品として確立させ実際に販売する。 PD4の共通課題 ★企画作品製作(4作品) S/S素材指定:レース、薄地(オーガンジー、ジョーゼット、 チュール等)、いずれかを必ず使用すること。 生地の染め、柄のプリント加工必須 アイテム指定:JK若しくはブルゾンのセットアップ ・デザイン画のバランス通りにシルエット表現できる ・素材の特性に合わせたドレーピングが出来る ・仕様・工程が考えられたパターンメイキングが出来る ・素材に合わせた裁断・縫製方法がとれる ★ブランドデザインのパターンメーキング 各アイテムのパターン作成、 各自のデザインに応じてテクニック＆テキスタイル実験と 様々な縫製テクニックの研究 使用素材からディティールの研究 トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認 完成パターン→工業用パターンへ 縫製仕様書作成、工程分析作成 裁断→縫製 **＊各自縫製スケジュール表に基づき進めていく**
11月	28	
12月	28	
1月	28	
2月	12	

留意事項	授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。
教材、資料等	・必要に応じて適宜用意
評価方法 対象・比重	・評価テスト30%・提出物70% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須選択	○	学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
パターンメイキングⅢ									3単位			
担当教員	本田　茂貴				科目区分	講義			演習		実習	100%
実務経験のある教員等による授業科目				○	経験内容	経験年数:13年　業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)婦人服アパレルメーカにてデザイナー、パタンナー及び生産管理責任者として海外工場の立ち上げなど、企画生産業務に幅広く従事。						
授業との関連性	パターンメーキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。 企業で求められる多種多様な軽重衣料のデザインに対応したパターンメーキング能力を修得する為に、平面製図と立体裁断からのトワル組立、修正を繰り返し学ぶ。											
授業目的	アイテムに必要なシルエットやディテールのパターンメーキングの知識と技術を習得する。											
到達目標	デザイン画やアイテム画と見比べて、シルエットやディテールのトワールとパターンの良否判断を行い、微調整、修正を行い質の高いパタン作成、完成パターン、縫製仕様書を作成できるようになる。											

授業概要

過去のデザイナー研究を通して、デザイン、カッティング等を研究し、自身のデザイン取り込む。また各アイテムのスローパーや有り型を使用して、パターンメーキングからトワール組み立て、確認、修正の繰り返しをしながら、質の高いパターン作成技術を身に付ける。

時期	コマ数	授業内容(授業展開)
4月	14	過去のデザイナー研究。デザイン、カッティング等を研究。 レポートとしてまとめる。 トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認、縫製仕様書作成 完成パターン→工業用パターンへ 工程分析作成 裁断→縫製 ＊各自縫製スケジュール表に基づき進めていく
5月	24	
6月	24	
7月	17	
9月	17	
留意事項		授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意
評価方法 対象・比重		・提出物60%・取組姿勢40% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須選択	○	学年	4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
パターンメイキングⅢ									3単位			
担当教員	本田　茂貴				科目区分	講義			演習		実習	100%
実務経験のある教員等による授業科目			○	経験内容	経験年数:13年　業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)婦人服アパレルメーカにてデザイナー、パタンナー及び生産管理責任者として海外工場の立ち上げなど、企画生産業務に幅広く従事。							
授業との関連性	パターンメーキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。 企業で求められる多種多様な軽重衣料のデザインに対応したパターンメーキング能力を修得する為に、平面製図と立体裁断からのトワル組立、修正を繰り返し学ぶ。											
授業目的	アイテムに必要なシルエットやディテールのパターンメーキングの知識と技術を習得する。											
到達目標	デザイン画やアイテム画と見比べて、シルエットやディテールのトワールとパターンの良否判断を行い、微調整、修正を行い質の高いパタン作成、完成パターン、縫製仕様書を作成できるようになる。											

授業概要

過去のデザイナー研究を通して、デザイン、カッティング等を研究し、自身のデザイン取り込む。また各アイテムのスローパーや有り型を使用して、パターンメーキングからトワール組み立て、確認、修正の繰り返しをしながら、質の高いパターン作成技術を身に付ける。

時期	コマ数	授業内容(授業展開)
10月	20	過去のデザイナー研究。デザイン、カッティング等を研究。 レポートとしてまとめる。 トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認、縫製仕様書作成 完成パターン→工業用パターンへ 工程分析作成 裁断→縫製 ＊各自縫製スケジュール表に基づき進めていく
11月	24	
12月	22	
1月	16	
2月	12	

留意事項	授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。
教材、資料等	・必要に応じて適宜用意
評価方法 対象・比重	・提出物60%・取組姿勢40% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
グラフィックワークⅡ									3単位			
担当教員	本田　茂貴					科目区分	講義	20%	演習		実習	80%
授業目的	ファションビジネスの現場ではPCでのデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルが必須。業界標準的に使用されているAdobeアプリの基本操作（知識と技術）から課題作成（実践）を行い応用力を身に付ける。											
到達目標	Adobeアプリを使用してポートフォリオやプレゼン資料を作成し、プレゼンテーションを行う。 就職活動の課題として提出することができる。											
授業概要												
就職活動に活用できるポートフォリオやプレゼンテーション資料の作成。												

時期	コマ数	授業内容（授業展開）
4月	14	特定のブランドを調査、研究し、就活における課題制作や企画書を作成する
5月	24	特定のブランドを調査、研究し、就活における課題制作や企画書を作成する
6月	24	特定のブランドを調査、研究し、就活における課題制作や企画書を作成する
7月	17	作成した内容をプレゼンテーションする
9月	17	作成した内容をプレゼンテーションする

留意事項	授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。また操作を覚えるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席（公欠含む）等で授業の進捗に遅れが出た場合は、次の授業までに必ず自習し授業の進捗に遅れないように取り組むこと。
教材、資料等	アドビチュートリアル。・必要に応じて適宜用意
評価方法 対象・比重	・提出物60％・取組姿勢40％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
グラフィックワークⅡ									3単位			
担当教員	本田　茂貴					科目区分	講義	20%	演習		実習	80%
授業目的	ファションビジネスの現場ではPCでのデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルが必須。業界標準的に使用されているAdobeアプリの基本操作（知識と技術）から課題作成（実践）を行い応用力を身に付ける。											
到達目標	Adobeアプリを使用してポートフォリオやプレゼン資料作成、ブランドプロモーショングッズを作成し卒業企画にて発表する。											

授業概要

Adobeアプリを使用し、基本的な操作方法を身に付け、ファッション業界で行われる各作業に対応できる力を身に付ける。また卒業企画展に向け、ファッションブランドECサイトの基本的な知識と作成方法を学ぶ。

時期	コマ数	授業内容（授業展開）
10月	20	ホームページ作成 にするにあたり、WEBサイトの調査研究。 調査研究した結果をレポートにまとめる ホームページ作成 アドビアプリを使用してカンプ（見本）を作成する
11月	24	ホームページ作成 アドビアプリを使用してカンプ（見本）を作成する ホームページ作成 アドビアプリを使用してカンプ（見本）を作成する
12月	22	アドビアプリを使用してホームページ作成
1月	16	アドビアプリを使用してホームページ作成
2月	12	卒業企画展にて発表
留意事項		授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。また操作を覚えるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席（公欠含む）等で授業の進捗に遅れが出た場合は、次の授業までに必ず自習し授業の進捗に遅れないように取り組むこと。
教材、資料等		アドビチュートリアル。・必要に応じて適宜用意
評価方法 対象・比重		・提出物60％・取組姿勢40％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
アパレル企画Ⅱ									3単位			
担当教員	原賀友子/吉川博美/本田茂貴				科目区分		講義	30%	演習		実習	70%
授業目的	自身のブランドターゲットとコンセプトを見つめなおし、時代を捉えたテーマ設定をし、企画書のさらなるレベルアップを 目指す。お店に並ぶことを見据えた品揃え展開と時期など、販売に繋がることを意識した計画を立てる。											
到達目標	自分の品揃えがブランドコンセプトとシーズンテーマに合っているか、時代に求められるものであるかなど 客観的に見直しながら、問題点、修正点を自ら気づきブラッシュアップできる力を身に付ける。											
	MDマップが作成できる。											

授業内容（授業展開）		
時期	コマ数	授業内容
4月	14	各自、就活に合わせた目的と目標設定(A4) スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ
5月	24	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ
6月	24	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ
7月	17	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ
9月	17	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ 前期テスト
留意事項		
教材、資料等		コレクション雑誌　等
評価方法 対象・比重		・評価テスト70％・提出物15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
アパレル企画Ⅱ									3単位			
担当教員	原賀友子/吉川博美/本田茂貴				科目区分	講義	30%		演習		実習	70%
授業目的	自身のブランドターゲットとコンセプトを見つめなおし、時代を捉えたテーマ設定をし、 企画書のさらなるレベルアップを目指す。 お店に並ぶことを見据えた品揃え展開と時期など、販売に繋がることを意識した計画を立てる。											
到達目標	自分の品揃えがブランドコンセプトとシーズンテーマに合っているか、時代に求められるものであるかなど 客観的に見直しながら、問題点、修正点を自ら気づきブラッシュアップできる力を身に付ける。											
	MDマップが作成できる。											

授業内容(授業展開)

時期	コマ数	授業内容
10月	20	各自、進路に合わせた目的と目標設定(A4) スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ
11月	24	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ
12月	22	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ
1月	16	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ
2月	12	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ 後期テスト

留意事項	提出物:研究レポート(企画書等)
教材、資料等	コレクション雑誌　等
評価方法 対象・比重	・評価テスト40%・提出物50%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
企画									3単位			
担当教員	吉川博美/原賀友子					科目区分	講義	30%	演習		実習	70%
授業目的	自身のブランドターゲットとコンセプトを見つめなおし、時代を捉えたテーマ設定をし、企画書のさらなるレベルアップを 目指す。お店に並ぶことを見据えた品揃え展開と時期など、販売に繋がることを意識した計画を立てる。											
到達目標	自分の品揃えがブランドコンセプトとシーズンテーマに合っているか、時代に求められるものであるかなど 客観的に見直しながら、問題点、修正点を自ら気づける力を身に付ける。											
	MDマップが作成できる。											

授業内容（授業展開）		
時期	コマ数	授業内容
4月	9	＊トレンド分析　A/W　コレクション分析《AWトレンド分析》・カテゴリーごとの分析とマップ作成　・デザインの潮流の分析シルエット・色・柄・素材・ディテール・アイテムなど分析。
5月	12	＊A/Wトレンド分析、注目トレンドの発表（授業内）★コレクションS/S予測・S/Sデザインテーマ・マテリアル、色、ディテール（バリエーション最低3体展開）
6月	12	＊6月上旬S/S企画チェック
7月	9	企画書作成（スタイリング案3体及びアイテム、素材展開）＊7月上旬タイリング案3体及びアイテム、素材展開チェック
9月	9	AW仕様書、工程分析を含む企画書の作成　④作成アイテム(3体～4体)のレポート提出(実物写真添付)最終提出9月8　⑤ブランド企画振り返りレポーート前期テスト・企画発表
留意事項		
教材、資料等		コレクション雑誌　等
評価方法 対象・比重		・評価テスト40%・提出物50%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
企画									4単位			
担当教員	吉川博美/原賀友子					科目区分	講義	30%	演習		実習	70%
授業目的	自身のブランドターゲットとコンセプトを見つめなおし、時代を捉えたテーマ設定をし、企画書のさらなるレベルアップを 目指す。お店に並ぶことを見据えた品揃え展開と時期など、販売に繋がることを意識した計画を立てる。											
到達目標	自分の品揃えがブランドコンセプトとシーズンテーマに合っているか、時代に求められるものであるかなど 客観的に見直しながら、問題点、修正点を自ら気づける力を身に付ける。											
	MDマップが作成できる。											

授業内容(授業展開)

時期	コマ数	授業内容
10月	16	《オリジナルブランド企画　SS》仕様書、工程分析を含む企画書の作成 ①アイテム構成提出(9アイテムにおける構成表を2か月/毎,計3枚) ②アイテム展開提出(①でのアイテム構成に基づく型数、カラー展開も含む)
11月	12	仕様書、工程分析を含む企画書の作成　上記①②修正含め最終提出 トレンド分析(SS)
12月	12	仕様書、工程分析を含む企画書の作成　③作成アイテム(3体～4体)の仕様書作成 トレンドマップ作成(SS) マーケット検証(AW)
1月	16	仕様書、工程分析を含む企画書の作成 ④作成アイテム(3体～4体)のレポート提出(実物写真添付) トレンド検証(SS)　　トレンド予測(AW)
2月	8	仕様書、工程分析を含む企画書の作成 ④作成アイテム(最低3体～4体)のレポート提出(実物写真添付)最終提出 ⑤ブランド企画振り返りレポーート後期テスト・企画発表
留意事項		提出物:研究レポート(企画書等)
教材、資料等		コレクション雑誌　等
評価方法 対象・比重		・評価テスト40%・提出物50%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科4年、ファッションビジネス科2年											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2、4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
一般教養									1単位			
担当教員	徳永隆裕					科目区分	講義	80%	演習	20%	実習	
授業目的	社会及び企業で要求される一般常識及びヒューマンスキルを身につけ、併せて就職試験で求められる一般教養試験へ対応できるようにする。											
到達目標	仕事をして行く上での最低限のコミュニケーション（口頭表現、文章表現）が出来る力を身に付け,就職試験で課される一般教養試験（国、数、英、社、時事等）で60%以上の得点が取得できるレベル。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	1	○企業研究確認　　随時履歴書・面接等チェック
4月	1	○SPAについて ○コミュニケーション及び自己表現能力の開発 ・面接・グループディスカッション演習
5月～ 9月	11	・時事学習、研究 国内外の問題について 政治、経済、社会、歴史等について
9月	2	・期末テスト ・振り返り

留意事項	
教材、資料等	講義により指導及び各種メディア掲載情報を参考
評価方法 対象・比重	テスト70%、提出物等30% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
特別講義									1単位			
担当教員	特別講義関連講師					科目区分	講義	90%	演習		実習	10%
授業目的	・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する ・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ											
到達目標	アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことができるようになる。 様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養い感性を伸ばす。											

授業概要

教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	1	一般教養（就職活動・ポートフォリオ作成）
	1	校外研修事前説明会
	1	校外研修
5月	1	学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション
	1	一般教養（就職活動・ポートフォリオ作成）
	1	DVD鑑賞 「ファッション関連」
	1	大掃除
6月	1	特別講義 （業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師　デザイナーによる授業等）
	1	一般教養（就職活動・ポートフォリオ作成）
	1	大掃除
	1	毛皮セミナー
7月	1	サマーファッションコンテスト事前審査会
	1	一般教養（就職活動・ポートフォリオ作成）
	1	サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル
9月	1	一般教養（就職活動・ポートフォリオ作成）
	1	一般常識（電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等）
	1	大掃除
留意事項		一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・繊研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。
教材、資料等		
評価方法 対象・比重		レポート・提出物等80％、取組姿勢・出欠20％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
特別講義									1単位			
担当教員	特別講義関連講師					科目区分	講義	90%	演習		実習	10%
授業目的	・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する ・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ											
到達目標	アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことが出来るようになる。 様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養う。											

授業概要
教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。

授業内容(授業展開)		
時期	コマ数	授業内容
10月	1	中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式事前準備及びリハーサル
	1	特別講義　(業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師　デザイナーによる授業等)
	1	大掃除
11月	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)
	1	DVD鑑賞　「ファッション関連」
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等)
	1	大掃除
12月	1	国内・海外研修に関して事前説明会
	1	DVD鑑賞　「ファッション関連」
	1	大掃除
1月	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等)
	1	大掃除
2月	1	就職関係　(企業セミナー、Jobカードセミナー等)
	1	DVD鑑賞　「ファッション関連」
	1	学生実行委員会に関して　次年度に向けた移行準備
留意事項		一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・繊研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。
教材、資料等		
評価方法 対象・比重		レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	1・2・3・4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
イベント・学校行事									1単位			
担当教員	関連講師					科目区分	講義	5%	演習		実習	95%
授業目的	・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。 ・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。											
到達目標	・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。											

授業概要
習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。 各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。

授業内容（授業展開）	
時期	授業内容
4月	校外研修事前説明会及び学科・学年を超えたコミュニケーション
	校外研修
	校外研修
5月	学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション
	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画
	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画・役割決め
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動①
6月	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動②
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動③
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動④
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動⑤
7月	サマーファッションコンテスト　事前審査会実施
	サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル
	サマーファッションコンテスト実施
9月	サマーファッションコンテスト　まとめ
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動①
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動②

留意事項	学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる
教材、資料等	
評価方法 対象・比重	行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢　優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	1・2・3・4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
イベント・学校行事									1単位			
担当教員	関連講師					科目区分	講義	5%	演習		実習	95%
授業目的	・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。 ・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。											
到達目標	・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。											

授業概要
習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。 各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。

授業内容（授業展開）	
時期	授業内容
10月	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動③
	中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式事前準備及びリハーサル
	中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式実施
11月	中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式　まとめ
	学生イベント企画　活動①　ドレスコードイベント
	学生イベント企画　活動②　ドレスコードイベント
	学生イベント企画　活動③　ドレスコードイベント
12月	学生イベント企画　活動⑤　スポーツ大会
	学生イベント企画　活動⑥　スポーツ大会
	卒業企画発表　実施に向けた活動①
1月	卒業企画発表　実施に向けた活動②
	卒業企画発表　実施に向けた活動③
	卒業企画発表　実施に向けた活動④
2月	卒業企画発表　実施に向けた活動⑤
	卒業企画発表　事前準備・リハーサル
	卒業企画発表　実施
3月	卒業企画発表　まとめ
	学生実行委員会に関して　次年度に向けた移行準備

留意事項	学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる
教材、資料等	
評価方法 対象・比重	行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢　優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。